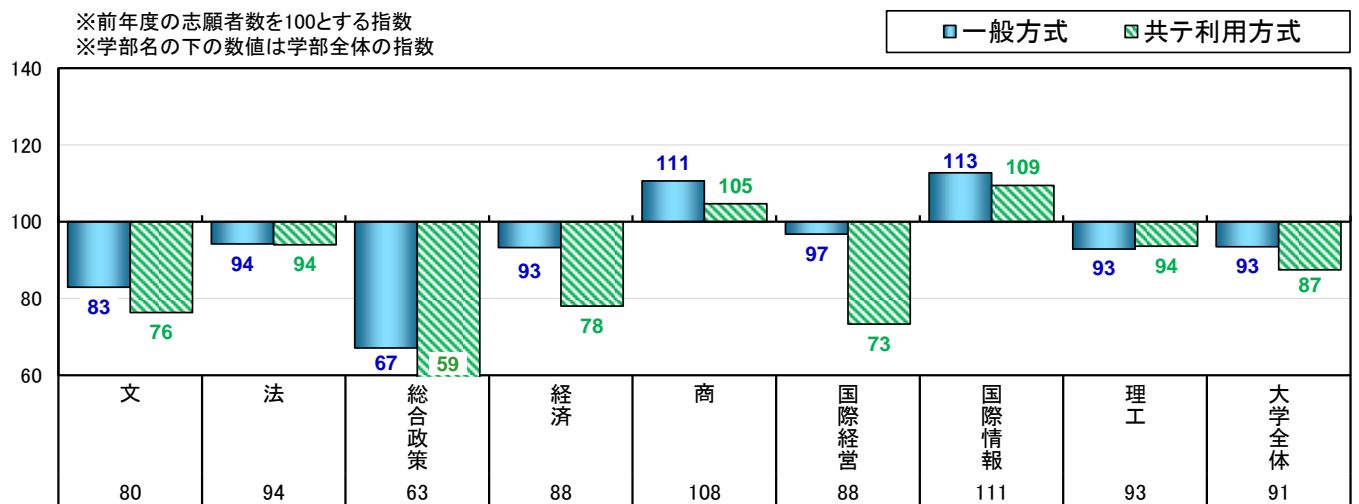


# 2021 年度入試状況分析【私立大】

中央大：大学全体では2年連続減少、国際情報、商のみ増加

一般：-3,161人 共テ：-4,781人



**入試変更点**

プログラム新設…文(人文/学びのパスポートプログラム)  
 学科名称変更：理工(経営システム工)→(ビジネスデータサイエンス)  
 選抜方法：文<一般><一般・英語外部試験利用>…国+外+(歴公 or 数)→国+外+(歴 or 数)  
 ※歴公の選択から、公を除外  
 (人文社会/日本史学)は日Bを必須化  
 (人文社会/東洋史学)、(人文社会/西洋史)は歴を必須化

入試方式廃止…総合政策<一般・英語外部試験利用>、経済<セ・併用英語選抜>  
 入試方式新規実施…総合政策<一般・英語外部検定換算> ※利用方法：出願要件、得点換算 国+外  
 英語外部試験の対象変更…経済<一般・英語外部試験利用>  
 英語外部試験のスコア変更…文、経済、国際情報(国際情報)<一般・英語外部試験利用>  
 募集人員：文(人文社会/国文学)<統一>…8人→7人、<一般>…31人→29人、  
 <共テ・前期3教科>…12人→11人  
 (人文社会/英語文学文化)<統一>…8人→7人、<一般>…80人→77人、  
 <共テ・前期3教科>…12人→11人  
 (人文社会/ドイツ語文学文化)<統一>…4人→3人、<一般>…20人→22人  
 (人文社会/フランス語文学文化)<統一>…4人→3人、<共テ・前期3教科>…6人→5人  
 (人文社会/中国言語文化)<統一>…4人→3人、<一般>…21人→23人  
 (人文社会/日本史学)<統一>…4人→3人、<一般>…51人→43人、  
 <共テ・前期3教科>…8人→5人  
 (人文社会/東洋史学)<一般>…24人→25人  
 (人文社会/西洋史学)<一般>…24人→25人  
 (人文社会/哲学)<統一>…4人→3人、<一般>…39人→36人、<共テ・前期3教科>…6人→5人  
 (人文社会/社会学)<統一>…4人→3人、<一般>…61人→47人、<共テ・前期3教科>…7人→5人  
 (人文社会/社会情報学)<統一>…4人→3人、<一般>…44人→43人、  
 <共テ・前期3教科>…7人→3人  
 (人文社会/教育学)<統一>…4人→3人、<共テ・前期3教科>…4人→3人  
 (人文社会/心理学)<統一>…4人→3人、<一般>…45人→41人、<共テ・前期3教科>…4人→3人  
 総合政策(国際政策文化)<統一>…10人→16人、<一般>…54人→50人  
 (政策科学)<統一>…10人→16人、<一般>…58人→50人  
 理工(ビジネスデータサイエンス)<一般>…60人→65人、<共テ・前期>…15人→13人  
 (情報工)<一般>…60人→61人、<共テ・併用>…15人→16人、<共テ・前期>…5人→6人

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、7,942人(91)の減少で2年連続減少。方式別でも、一般方式(93)、共通テスト利用方式(87)ともに2年連続減少。一般方式では、8学部中、国際情報(113)、商(111)の2学部は増加したが、他の6学部でいずれも減少。共通テスト利用方式でも、国際情報(109)、商(105)は増加したが、他の6学部はいずれも減少。

<一般方式>

- 文(83)は、前年度増加の反動で大幅減少、2016年度より前年度の反動による増減が継続。専攻別では、既存の13専攻中で(人文社会/西洋史学)(100)が前年度並だったが、他の12専攻はいずれも減少。新設の(人文/学びのパスポートプログラム)は、募集人員12人、志願者数172人、志願倍率14.3倍だった。
- 法(94)は、2019年度より前年度の反動による増減が継続しやや減少。学部別では、(政治)(86)は、前年度大幅増加の反動で減少。(国際企業関係法)(97)はやや減少で、3年連続減少。(法律)(97)もやや減少。
- 総合政策(67)は、大幅減少で3年連続減少。学科別でも、(国際政策文化)(65)、(政策科学)(69)はともに大幅減少で、3年連続減少。
- 経済(93)は、やや減少で、6年ぶりに減少。学科別では、(国際経済)(106)は増加で、4年連続増加。一方で、他の3学科はいずれも減少。特に、(公共・環境経済)(76)、(経済情報システム)(84)は大幅減少で、いずれも2年連続減少。

## 2021 年度入試状況分析【私立大】

- 商(111)は、2年連続減少の反動で増加。学科・コース別では(金融/フレックス)(157)、(金融/フレックス Plus1)(130)の大幅増加が目立った。一方で、(フリーメジャー)(86)は前年度増加の反動で減少。
- 開設3年目の国際経営(97)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや減少で、2年連続減少。募集単位別では、〈統一4教科〉(57)、〈統一3教科〉(62)の大幅減少が目立った。
- 開設3年目の国際情報(113)は、前年度半減以下だった反動は小さく、178人(113)の増加。募集単位別では、〈一般〉は前年度半減以下だった反動は小さく、166人(114)の増加に留まった。〈英語外部試験利用〉も、前年度大幅減少の反動は見られず12人(105)のやや増加。
- 理工(93)は、やや減少で志願者数が9,000人を下回った。学科別では、(電気電子情報通信工)(105)、(数学)(103)、(応用化学)(101)の3学科は増加。学科名称を変更した(ビジネスデータサイエンス)は、前年度の(経営システム工)と比較すると募集人員が5人増加にもかかわらず、26人(97)の微減。他の6学科はいずれも減少。

### 〈共通テスト利用方式〉

- 文(76)は、大幅減少で3年連続減少。専攻別では、既存の13専攻中で(人文社会/哲学)(112)は増加だったが、他の12専攻はいずれも減少。特に、(人文社会/フランス語文学文化)(45)は半減以下で、3年連続減少。新設の(人文/学びのサポートプログラム)は、募集人員2人、志願者数96人、志願倍率48倍だった。
- 法(94)は、やや減少で、2017年度より前年度の反動による増減が継続。学科別では、(政治)(82)は前年度増加率60%以上の激増の反動で大幅減少。(国際企業関係法)(95)、(法律)(99)は、いずれも3年連続減少。
- 総合政策(59)は、2年連続大幅減少。学科別でも、(国際政策文化)(56)、(政策科学)(62)はともに大幅減少。
- 経済(78)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、(公共・環境経済)(58)、(国際経済)(69)、(経済情報システム)(75)、(経済)(84)の4学科はいずれも大幅減少。
- 商(105)は、2年連続大幅減少の反動は小さく、やや増加に留まった。学科・コース別では、(経営)(114)、(金融)(110)は増加、(フリーメジャー)(103)がやや増加。一方で、(会計)(95)はやや減少、(商業・貿易)(100)は前年度並。
- 開設3年目の国際経営(73)は、前年度半減近かった反動はなく2年連続大幅減少。志願倍率は、41.2倍→30.2倍にダウン。
- 開設3年目の国際情報(109)は、前年度半減以下の反動は小さく、147人(109)の増加に留まった。
- 理工(94)は、2年連続減少し、4年ぶりに志願者数8,000人を下回った。学科別では、(数学)(141)が大幅増加。一方で、(生命科学)(72)、(人間総合理工)(80)が大幅減少。